

公募予定アイデア④

エクアドル × 環境管理(カカオ産業廃材利活用)

(個別協力事業との共創)

「カカオ産業・輸出政策アドバイザー」(個別派遣専門家)

「カカオ高付加価値化のためのトレーサビリティプリンティングシステム」
(普及・実証・ビジネス化事業)

面積	25.6万平方キロメートル（本州と九州を合わせた広さ）
人口	1,826万人（2023年）
首都	キト
GDP	1,187億ドル（2023年、IMF）
主要産業	鉱工業（石油）、農業（バナナ、カカオ、コーヒー）、水産業（エビ、マグロ）
気候	赤道の直下に位置し、国土は南北に走るアンデス山脈を境に太平洋側のコスタ、山岳地帯のシエラ、アマゾン地域のオリエンテ、ガラパゴス諸島の4つの気候区に分かれる。 コスタ：平均気温は25～28℃で、雨季と乾季がある。 シエラ：キトは赤道直下にあるが標高が高く、平均気温は14℃ オリエンテ：高温多湿の熱帯ジャングル、年間平均気温は25℃前後 ガラパゴス諸島：一年を通じて温暖で、年間平均気温は24℃前後
宗教	カトリック/キリスト教（80.4%）
言語	公用語：スペイン語
参考リンク	https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/ecuador/data.html#section1 エクアドル - Wikipedia



現状と課題

○カカオ廃材活用によるサーキュラー・バイオエコノミーの実現

- ・エクアドル国の主要輸出産品であるカカオ豆及びその加工品(年間43万トン)の集荷生産過程で発生する未利用副産物(カカオポッド・外皮)を、バイオプラスチック樹脂等に加工することで農業廃棄物を削減し、地球環境保護に貢献。
- ・同バイオプラスチックを各種容器等に加工し、国内外に販売することで、同国のカカオ産業全体の付加価値を高め、生産農家を中心とした生活水準を向上。

○パートナー機関について

- ・生産貿易投資漁業省(MPCEIP)は国策であるバイオエコノミーの推進省庁。
- ・同省には、JICAよりカカオ産業・輸出政策アドバイザー専門家を派遣中。

○現状と課題

- ・現状、カカオポッド・外皮は肥料にする以外の主な用途が無く、農業廃棄物として処理されている割合が高い。
- ・カカオ豆の世界的供給不足による市場価格高騰で、エクアドル国のカカオ産業は市場相場の影響を大きく受けている。
- ・カカオ加工品の生産拡大及び未利用副産物の利活用により、同産業全体の付加価値を高め、市場相場の影響を受けにくい筋肉質且つ環境に優しい産業として育成・発展させる。その為の加工技術・設備の導入・確保が課題。



期待される企業との連携アイデア

○アイデア 1 : カカオポッド・外皮利用 バイオプラスチック樹脂加工技術・設備の導入

- ・日本 : バイオプラスチック製造ベンチャー企業
 チョコレート製造メーカー
 - ・エクアドル : 大手カカオ生産農園
 カカオ加工企業
- ➡ 技術支援
 - ➡ 資金援助・製品利用
 - ➡ カカオポッド供給
 - ➡ カカオ外皮供給・設備導入・樹脂外販

○アイデア 2 : カカオ由来バイオプラスチック容器の製造・外販

- ・日本 : バイオプラスチック製造ベンチャー企業
 チョコレート製造メーカー
 カカオ輸入商社
 - ・エクアドル : 大手カカオ生産農園
 カカオ加工企業
 容器加工企業 (トレー・ストロー等)
- ➡ 技術支援
 - ➡ 資金援助・製品利用
 - ➡ 流通ルート提供
 - ➡ カカオポッド供給
 - ➡ カカオ外皮供給・加工設備導入
 - ➡ 生分解性容器・製品の製造販売